

黒木西

黒木西小

学校だより

文書:校長 齋藤英義

令和4年12月8日(木)

NO.41



持久走記録会

前々回より、童話「ウサギとカメラ」シリーズが続いておりませんが、今回も「ウサギとカメラ」の続編をお送りします。

先週金曜日(2日)、持久走記録会を行いました。当日は、朝の冷え込みがきつく、子どもたちの意欲減退が心配されましたが、保護者や地域の方、本分保育園児等々の声援のおかげで、寒さを吹き飛ばす記録会を実施することができました。



10日間の練習の積み上げに、当日の声援の力が加わったことで、個人記録がよくなった子どもたちが大勢いました。走ると距離が違っているので、一律に比較できませんが、縮まったタイムを平均すると、低学年で35.2秒、中学年で48.1秒、高学年で42.5秒が縮まりました。

子どもたちの頑張りには感激され、「さあ、今週も頑張るぞ!」と気合いを入れて登校指導をしていた月曜日の朝、低学年の子が近寄ってきて、「校長先生、お手紙を書きました。」と言って手紙を渡してくれました。

こうちよう先生へ
(略)わたしは、こうちよう先生の話で、「カメラはウサギじゃなくて、ゴールを見ていました。」と言われていたので、じきゆうそうのとき、ちゃんとゴールのことを考えて走りました。
そしたら、みんなの音が聞こえて、自分も「あっ!がんばったんだ!」と思いました。
こうちよう先生、ありがとうございます!
「さいました。」
こうちよう先生が、いつも「明るい学校にしようね。」
と言っているの、
私が明るい学校にしてみせます! (略)



登校指導のあいさつの声が、一段と大きくなったことは言うまでもありません。

キラキラの木



またまた「ウサギとカメラ」の続編です。寝ていたうさぎを起さなかったことを後悔したカメラは、再競走を申し込みます。今回は、それぞれに別々の計測器を身につけて競走します。

二人は無事にゴールするのですが、それぞれの計測器をのぞき見て、「すごい!」と同時に声をあげました。二人はどんな計測器を身につけていたのでしょうか?

ウサギとカメラ

PART III

正解は、ウサギが身に付けていたのはストップウォッチ。カメラが身に付けていたのは万歩計。カメラは、ウサギのタイムがとても速かったことに「すごい!」と言い、ウサギは、カメラの歩数が増えても多かったことに「すごい!」と感心した。ウサギは足が速いので、ストップウォッチというものが相応しかった、カメラは粘り強いので、万歩計というものが相応しかったのですね。
このお話から、友達それぞれのよさを互いに認めるためには、そのよさを積極的に「見付け合う」ことが必要だということになりそうです。

さて、ちよつと話が変わりますが、昭和23年12月10日、国際連合総会において、「世界人権宣言」が採択されたことを記念して、12月4日から12月10日までの一週間を「人権週間」と定め、全国的に人権啓発活動を特に強化して行っています。

本校においても、昇降口のところに「キラキラの木」というものがあり、ウサギとカメラではありませんが、身近な友達のよさを見付け合い、お互いを高め合えるようにとの願いから、見つけた友達のいいところを貼っています。



皆さんのよさは何ですか? それでそのよさを計る「ものさし(態度や行動)」は何でしょうか? あなたの周りの友達のよさは何ですか? それでそれを知る(計る)ものさし(態度や行動)は何でしょうか?

貼られたカードの中から数枚紹介します。

- 「3年 ○○さんへ さあがりの練習をがんばっているところがキラキラしていたよ。」 3年 □□より
- 「6年 ○○さんへ 算数の時間に分からない問題でやり方を友だちに教えていたのがやさしいなと思いました。」 6年 □□より
- 「1年 ○○さんへ いつもニコニコえがおでやさしいね。」 1年 □□より

自分のよさ、友達のよさは、それを表示し示す何かとセットで見つけ出すものかも知れませんが、

人は、時にウサギの場合が、そして、時にカメラの場合があります。どちらの立場にあるときでも、腐ることなく、また、威張ることなく、謙虚に『友達に学び』成長していきたいものです。『自分のペースを楽しみながら』

